

4 助動詞① き・けり

活用語の連用形に接続するよ。

助動詞

付属語のうち、活用する語を助動詞という。用言や他の助動詞などに接続し、その語句に意味を添える働きをする語である。

き 活用語の連用形に接続

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
き	(せ)	○	き	し	しか	○

*未然形の「せ」
「―せば、……まし」≡反実仮想(もしも〜ならば、……だろうに)の形でしか使われない。

意味 (1) (直接体験した) 過去 (…タ)

けり 活用語の連用形に接続

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
けり	(けら)	○	けり	ける	けれ	○

*未然形「けら」
奈良時代にしか使われない。

意味 (1) (間接体験した) 過去 (…タ…タソウダ)

(2) 詠嘆 (…ダナア)

*詠嘆 ① 和歌の中にある時。

② 会話文中にある場合に多い。

練習問題

↓解答は別冊18〜19ページ

問一 次の各文の「き」「けり」について、意味を答えなさい。

① 「鰐たに食ひ切られたるなりけり」と見るほどに、

(宇治拾遺物語)

② 西おもてに見えし山なり。

(更級日記)

③ 榎えの木の僧正とぞ言ひける。

(徒然草)

③	②	①

問二 次の□の「き」「けり」を適当な形に活用させなさい。

① 立ち寄りたりきば、いとさびしげにて、

(堤中納言物語)

② 鎌倉へこそ下られけり。

(平家物語)

②	①

確認問題

問一 「き」「けり」の活用表を完成させなさい。

	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
き							
けり							

問二 次の一部の「き」「けり」の意味と活用形を答えなさい。

① 鬼のやうなるもの出で来て、殺さむとしき。
(竹取物語)

② 身はいやしなながら、母なむ宮なりける。
(伊勢物語)

③ 追風の吹きぬるときはゆく船の帆手うちてこそうれしかりけれ。
(土佐日記)

③	②	①	意味	活用形

問三 一部の助動詞「き」であるのは、ア、イのどちらか。記号で選んで答えなさい。

ア いかにかわびしき心地しけむ。
(枕草子)

イ 京より下りし時に、みな人子どもなかりき。
(土佐日記)

問四 一部の助動詞「けり」であるのは、ア、イのどちらか。記号で選んで答えなさい。

ア 京童部あまた立ちて向かひければ、
(宇治拾遺物語)

イ いとわびしければ、うち泣きて縫ふままに、
(落窪物語)

★助動詞について「文法的に説明する」

例えば、助動詞の設問で「文法的に説明しなさい」と問われた場合、意味・基本形・活用形を、次のように答えればよい。

例 過去の助動詞「き」の連体形

確認問題の解答

基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
き	せ	○	き	し	しか	○
けり	けら	○	けり	ける	けれ	○

問二 ① 過去・終止形 ② 過去・連体形 ③ 詠嘆・已然形

直前の語に着眼して、「なむ」を見分けよう。



■ 直前が活用語の連用形の場合（連用形＋なむ）
完了の助動詞「ぬ」の未然形＋推量の助動詞「む」

「…ダロウ」「…シヨウ」「…ハズダ」「…デキル」などと訳す。
↓本冊「助動詞② つ・ぬ」P.24
↓本冊「助動詞⑦ む・むず・じ」P.34

■ 直前が活用語の未然形の場合（未然形＋なむ）
願望の終助詞「なむ」⇨必ず文末にある

「…テホシイ」と訳す

↓本冊「助動詞⑤ 終助詞」P.56

■ 体言・連体形
形容詞形容動詞の連用形
＋なむ＋連体形。

強意の係助詞「なむ」⇨係り結びになる

↓本冊「助動詞④ 係助詞」P.54

■ 直前がナ変動詞の語幹「死・往（去）」の場合
ナ変動詞の語尾「な」＋推量の助動詞「む」

直前の語の未然形と連用形が同形の場合は、
前後の文脈を考えて見分けよう。
「なん」と表記することもあるので要注意だよ。



確認問題

問一 次の「なむ」部の「なむ」の説明として正しいものをア～エから選んで答えなさい。

- ① 髪もいみじく長くなりなむ。(更級日記)
- ② 桜花散らずあらなむ。(万葉集)
- ③ もと光る竹なむ一筋ありける。(竹取物語)
- ④ 御おくりしてとく往なむと思ふ。(伊勢物語)

ア 願望の終助詞
イ 完了の助動詞＋推量の助動詞
ウ 強意の係助詞
エ ナ変動詞の語尾＋推量の助動詞

①
②
③
④

問二 「わづらはしくなむ」と「わづらはしかりなむ」の「なむ」の説明として正しいものを、それぞれア～エから選んで答えなさい。

ア 願望の終助詞
イ 完了の助動詞＋推量の助動詞
ウ 強意の係助詞
エ ナ変動詞の語尾＋推量の助動詞

わづらはしくなむ
わづらはしかりなむ

エ きたなげになり侍りなむ。(枕草子)

--

練習問題

問一 次の「なむ」部の「なむ」の説明として正しいものをア～エから選んで答えなさい。

↓解答は別冊64～65ページ

- ① それを見てだに帰りなむ。(竹取物語)
- ② 山の端逃げて入れずもあらなむ。(古今和歌集)
- ③ かかることなむある。(宇治拾遺物語)
- ④ 花の下にて春死なむ。(山家集)

ア 願望の終助詞
イ 完了の助動詞＋推量の助動詞
ウ 強意の係助詞
エ ナ変動詞の語尾＋推量の助動詞

①
②
③
④

問二 次の「なむ」部の「なむ」と文法的に異なるものをア～エから選んで答えなさい。

↓本冊「文法的に説明する」P.7・23

- ア 暁にはとくだりなむといそがる。(枕草子)
- ア いらへたまひなんや。(発心集)
- イ 玉の緒の絶えなむことも知らず。(風俗文選)
- ウ しかしかなむ言ひつる。(平中物語)

確認問題の解答

問一 ① イ ② ア ③ ウ ④ エ
問二 わづらはしくなむ ウ わづらはしかりなむ イ